

2020 年度 専門演習

第 1 回選考 個別課題・お知らせ

- ※ 全ての教員からお知らせがあるわけではありません。
- ※ 情報の追加・変更等が発生した場合、資料は更新されます。随時、政治経済学部 web サイトまたは掲示を確認してください。

更新履歴

8 月 2 7 日公開	
8 月 2 9 日更新	村上ゼミ（演習番号 2 2 3）、室井ゼミ（演習番号 9 0 2）について、お知らせを追加。→ P21 を参照
9 月 3 日更新	船木ゼミ（演習番号 2 2 1）について、お知らせを一部変更。→ P13 を参照
9 月 4 日更新	中村理ゼミ（演習番号 4 0 5）について、お知らせを追加。→P22 を参照

政治経済学部

演習番号	101	担当教員	縣 公一郎
研究対象を明確にして研究計画を提出され、その最後に、現時点で参照したい参考文献を 5 点明示されたい。			

演習番号	102	担当教員	厚見 恵一郎
面接選考日時である 9/12(木)14:00 にどうしても都合がつかない場合は、担当教員の厚見 atsumi アットマーク waseda.jp まで事前にメールでご相談ください。			
メールは waseda.jp のアドレスから出してください。			

演習番号	103	担当教員	稲継 裕昭
事前課題はありませんが、稲継ゼミ 希望者向けの「オリジナル自己紹介シート」を（手書きで）書いて、ゼミ選考当日（14 日（土）9 時 45 分、選考会場は 909 号室）に持参してもらいます。			
「オリジナル自己紹介シート」の記入用紙は、申込をした学生に直接お渡しします。MYWASEDA で申込後、1428 号室の前のボックスから 1 人 1 枚持って行ってください。			

演習番号	104	担当教員	稲村 一隆
志望理由の中で、当該ゼミに関連する文献について書評して下さい。			

演習番号	105	担当教員	梅森 直之
いままで読んだ書籍のうち、ゼミの課題図書としてもっとも強く推薦したいものを一冊あげて、その内容を説明し、あわせてその推薦理由を述べよ。（2000 字程度）			

演習番号	106	担当教員	川岸 令和
川岸令和ゼミ 第一次選考課題			
ゼミを希望する学生は、以下の課題を面接時に提出してください。課題を提出しない学生は選考の対象としません。また、面接実施の要領に関しては、後日掲示する予定です。			
課題：大学入学以降読了した書物 1 冊を取り上げ（分野は問いません）、要約した後、その内容を論評しなさい。字数は全体で 1,500 字前後です。			
文書の書式は自由ですが、ワードプロセッサを用いて作成し、A4 判の用紙に適当な行間を保って印刷してください。			
面接時に提出			

演習番号	107	担当教員	国吉 知樹
演習担当教員は現在特別研究期間中でアメリカに滞在しているため、選考のための面接はスカイプを通じて行います。 面接時間調整のために個別に連絡を致しますので、応募者は申し込みの際に連絡の取りやすいメールアドレスを明記して下さい。			

演習番号	108	担当教員	栗崎 周平
栗崎ゼミでは選考において面接は原則として行いません。 個別課題による書類選考のみですので、東京にいる必要はありません。 当方から質問がある場合はメールで問い合わせます。 9月13日(金)までに下記 URL に記した課題を kurizaki@waseda.jp に送付して下さい。 APSR 論文を読む課題もありますので、お早めに。 www.f.waseda.jp/kurizaki/seminar-application.html 9月13日(金)17時までに kurizaki@waseda.jp にメールで送信			

演習番号	109	担当教員	河野 勝
河野ゼミへの応募を考えている方々は、 ホームページ http://kohno-seminar.net/ およびツイッター https://twitter.com/kohnosemi2019 での情報を参考にしてください。			

演習番号	110	担当教員	小原 隆治
以下の要領で、課題レポートを提出してください。 1、課題 つぎの文献を読み、主旨を簡潔にまとめたうえで論評しなさい。 ・ 丸山眞男「政治的無関心」（丸山眞男著・松本礼二編注〔2014〕『政治の世界 他十篇』岩波文庫） 2、形式 ワードを使って文書ファイルを作成してください。A 4 版サイズで 1,000 字程度に収めること。 氏名、学籍番号を明記すること。 3、提出方法 提出先、提出締切日時は別掲のとおりです。添付ファイルで送信してください。 なお、皆さんが提出の際に使った発信元アドレスは、その後、こちらからの事務連絡のための送信先アドレスとして使うので承知してください。 4、その他 丸山（2014）はプレ政治学演習のテキストの一部として使う可能性が高いので、購入することを勧めます。 提出先：kohara@waseda.jp 提出締切日時：9月11日（水）0：00			

演習番号	112	担当教員	ソジェ内田 恵美
9月11日11時に面談予定表を研究室前に張り出します。希望の時間帯に名前を記入して下さい。			

演習番号	113	担当教員	田中 孝彦
【課題】「国際政治史上の事件で、もっとも関心がある事件について」 【要領】 (1) A4 で 2 枚以内に収めること。 (2) 氏名と学籍番号、論題を必ず記入すること。 (3) PDF 形式の file として提出すること。			
【提出先】 takahiko.tanaka@waseda.jp 【提出締切】 9 月 12 日 23 時 59 分 【必須事項】 Subject 欄に「田中孝彦ゼミ志望」と必ず記入のこと。			

演習番号	114	担当教員	都丸 潤子
本ゼミは 2019 年度より「政治学演習」として開講しておりますので、前提科目等にご注意ください。 下記の課題を、期限内にメールの添付ファイルで提出してください。 事前に面接時間を調整してご連絡しますので、課題送付後もメールチェックを頻繁に行い、メール本文に確実に連絡のとれるアドレスを明記してください。 (課題) 第 1 回選考応募者は 9 月 9 日 (月) までに、現在関心をもつ人の国際移動の事例について、なぜ、どのような点に関心を持っているか、自分に (研究も含めて) 何ができそうか、を自分の言葉で A4 用紙 2 枚程度にまとめて、メールの添付ファイルで j-tomaru(アットマーク)waseda.jp 宛に送ってください。 その際に面接時間連絡用の (頻繁にチェックする) メールアドレスも明記してください。			
9 月 9 日 (月) 23:59 までに、 j-tomaru (アットマーク) waseda.jp までメールの添付ファイルで送付してください。			

演習番号	115	担当教員	中村 英俊
演習申込用紙（ES）を真剣に考えて、書いてください。 その際、私がどのような研究教育に携わっているかは知っててください。 私が考える専門演習（ゼミ）の究極目標は、ゼミ生全員に約 2 年間で良い卒業論文を書き上げてもらうことです。 そのためには、個人的能力も重要ですが、ゼミというチームでプレーするという意識が重要です。 個別の研究テーマを追求するだけでなく、世界（地球）が抱える様々な危機にどう向き合うのか、それをチームで学ぶ（共同で研究する）ための国際政治ゼミを目指しています。 このような私の考えを十分に咀嚼して、ES を書いてください。			

演習番号	117	担当教員	日野 愛郎
過去のゼミ生（1 期～5 期）の卒業論文の中から 1 つを選び、その論文を 2000 字前後で論評してください。 論文集は下記 URL から入手できます（https://goo.gl/xm88Mj）。			
演習申請締切時間までに個別課題を担当教員のメールアドレス宛（airo@waseda.jp）に送付してください。			

演習番号	121	担当教員	谷澤 正嗣
------	-----	------	-------

2020 年度政治学演習第 1 回選考

谷澤 正 嗣 ゼ ミ に つ い て

●出願の前に気をつけること

まず演習要項を熟読してください。質問や相談があれば、myazawa@waseda.jp まで遠慮なくメールください。

●さらに詳しいことが知りたい人は

選考の方針、参考図書、これまでのゼミでやったことなどについて知りたい人は、上記の谷澤のアドレスに、必ず waseda-net のアドレスから、「谷澤ゼミ資料希望」と件名欄に書いてメールを送ってください。添付ファイルで資料を送ります。メールはお早めに。

谷澤 正 嗣 ゼ ミ

2020 年度第 1 回選考課題

次の二つの課題のうち、一つを選んでレポートを提出することを、出願の条件とします。提出しない学生は選考の対象としません。

ワードプロセッサを利用して作成しプリントアウトしたものを、選考の際に持参しなさい。書式は A4 横書き、字数はいずれも 3000 字以上 4000 字以内。質問や相談は myazawa@waseda.jp まで。

〈課題 A〉

以下の課題図書を読んで、課題に答えなさい。

齋藤純一『不平等を考える』（ちくま新書、2017 年）

課題：課題図書の第 I 部を読み、著者の主張を 1500 字前後で適切に要約した上で、問題提起を行いなさい。その際、①提起したい問題は著者の主張のどの部分にかかわるのか、正確な箇所（頁）を引用とともに示しなさい。②どのような理由からその問いを提起したいのか、なぜその問いが重要であると考えたのか、第 I 部全体を考慮に入れながら詳しく述べなさい。

〈課題 B〉

政治理論に関する論点を含む任意の書物または論文を選んで読み、要約、論評しなさい。ただしこの課題を選ぶものは、事前に（出願書類を提出するよりも前に）選択する書物または論文についてメールで谷澤の承諾を得ること。

面談時に持参

演習番号	201	担当教員	安達 剛
申請フォームの記入にあたって以下のページの情報をよく確認してください。 https://bit.ly/2yWdlBt			

演習番号	202	担当教員	荒木 一法
シラバスの内容をよく確認し、教員による説明会に参加するかコースナビで視聴した上で応募してください。選考では個人面談を実施します。面談開始時間は個別に連絡します。			

演習番号	203	担当教員	有村 俊秀
ゼミ論でどのような研究が行いたいかを考え、研究計画を提出してもらいます。 準備として関心のあるテーマに関連する図書または論文を読んでもください。 その上で、A4サイズ2枚分に、研究計画をまとめてメール添付で提出してください。 なお、文書作成にはワードを用いてください。提出物には下記の情報を含んでもください。 ①ゼミ論で対象としたい具体的な環境・エネルギー問題または環境・エネルギー政策 ②ゼミ論で検証したい仮説、及び（現時点で思いつく範囲で）検証するための手法 ③読んだ関連図書・論文 ④名前と学生番号 宛先：zemioubo_arimura@yahoo.co.jp （ただし、メールの件名を「ゼミ応募」とすること） 締め切り 9月10日（火）17時とします。			
zemioubo_arimura@yahoo.co.jp			

演習番号	204	担当教員	上田 貴子
応募時点で「統計学Ⅰ」を履修済みであること、2年秋学期までに「統計学Ⅱ」を履修すること、3年生で「計量経済学」「上級計量経済学（横断面・パネルデータ分析）」を履修し4年生の「専門演習Ⅲ」にも出席することを必須とする。			

演習番号	205	担当教員	大湾 秀雄
課題：知りたいこと、分析してみたいことをA41枚でまとめる。以下の2点を必ず含めてください。 1、何を分析してみたいですか？（例：***が○○○に与えた影響を知りたい、どうして***は○○○なのかを知りたい） 2、どうしてその問題に興味があるのか？それが分かるとどういう良いことがあるのか？			
9月10日メール(owan@waseda.jp)にて			

演習番号	206	担当教員	荻沼 隆
応募する学生は、以下の点に注意してください。課題は、面接時に提出です。 (1)課題1：ゲーム理論、行動経済学もしくはミクロ経済学に関連する書籍または論文を一つ以上読み、その内容をまとめたうえで、自分の意見を述べなさい。(A4で2枚以内。参考文献を記載すること) (2)課題2：ゼミで学びたいこと、および自分のアピールポイントをA4で1枚にまとめる。 (3)面接の時間調整をするので、連絡可能な電子メールアドレスを記載し、面接日より前にチェックすること。万一、うまくいかなかったときは、面接日の10:00に研究室を訪問すること。(そこで、時間を割り振ります。)			
面談時に持参			

演習番号	207	担当教員	小倉 義明
日本の生産年齢人口は1997年以降減少し続けている。 これが日本の実質金利に与えた影響について、考えうることを500字程度で説明しなさい。			

演習番号	208	担当教員	笠松 学
希望者は、選考日に自己紹介のエッセイを持参して下さい。内容は自由ですが、形式は以下の通りです。			
1 A4判の紙、表1枚にまとめる。(裏の使用は不可)			
2 自筆(ワープロ不可)。 以上			
選考時に持参			

演習番号	210	担当教員	金子 昭彦
第1回選考課題			
以下のすべての問題に答えなさい。			
1. 国民所得が以下の方程式体系で決定されとする。			
$Y = C + I_0 + G_0$ $C = a + bY (a > 0, 0 < b < 1)$			
ここで、 Y と C はそれぞれ内生変数で国民所得と消費支出を表す。また、 I_0 と G_0 は外生的に決まる投資支出と政府支出を表す。 a と b はパラメータである。均衡国民所得と消費支出を外生変数およびパラメータで表しなさい。			
2. 以下の2式で構成される、資本移動が自由な小国経済のマンデル＝フレミングモデルを考える。			
$Y = C(Y - T) + I(i) + G + NX(Y, \epsilon) \text{ ただし } NX_\epsilon > 0$ $\frac{M}{P} = L(Y, i)$ $i = i_f$			
当初の均衡国民所得水準は自然率生産量よりも小さいが価格調整は行われない。 ϵ は実質為替レート。 i_f は外国利子率で小国にとって所与である。その他の変数および関数の性質は標準的なマクロ経済学で想定されているものと同じである。			
海外における貯蓄意欲増加があったとき、変動為替相場制下および固定為替レート下で短期均衡において均衡国民所得、為替レートおよび純輸出にどのような影響を与えるであろうか？			

演習番号	211	担当教員	川口 浩
申込終了後、直ちにその旨を<kawaguti@waseda.jp>にお知らせ下さい。 折り返し、面接時間を返信します。			

演習番号	213	担当教員	小林 和夫
選考では、 (1)志望動機、 (2)経済史について興味のあること、 (3)今までに読んだ経済史あるいは歴史の書籍で一番印象に残っている本、 (4)外国語の学習状況、 (5)希望進路などについてお質問する予定です。 経済史入門 A02 を受講済であることが望ましいです。			

演習番号	214	担当教員	近藤 康之
■ 選考時間の調整のため、メールによる事前予約が必要です。9 月 9 日（月）午後 6 時までに近藤〈ykondo@waseda.jp〉宛にメールで氏名と学籍番号を知らせてください。 ■ 選考日（9 月 12 日）に都合の悪い時間帯がある場合（未済試験の受験が認められるものと同等の理由のある場合）は理由と併せてメールに記載してください。 ■ 9 月 10 日（火）までに選考日時をメールでお知らせします。メールが届かない場合はお問い合わせください。 ■ 申し込みの際に「研究計画」欄には、3 つの分野「貿易」「環境」「経済効果」それぞれについて、 (1)研究したいテーマ、 (2)そのテーマについてこれまで学んだこと、 (3)その研究によって明らかにしたいこと、を書いてください。			

演習番号	215	担当教員	齊藤 有希子
以下の課題に取り組み、レポートにまとめて下さい。枚数、形式は自由です。 地理空間に関わる興味ある現象をピックアップし、なぜその現象に興味あるのか、そのメカニズムを解明するために、どのようなデータを収集し、どのような分析するのかについて説明して下さい。			

演習番号	217	担当教員	白木 三秀
白木ゼミ希望者の皆さんへ 以下のテーマと要領でレポートをまとめ、9月9日（月）12：00までに事務所に提出してください。 1．テーマ：現下ならびに将来の日本の労働市場の状況を踏まえた上で、「ダイバーシティとインクルージョン」ということの意味を公共政策的、並びに企業経営的に考察し、論ぜよ。 2．要領： （1）A4で2－3枚にまとめよ。図表込み。 （2）引用、参考文献があれば文末に明示すること。			

演習番号	218	担当教員	田中 久稔
面談日までにラング「ラング線形代数学（上）」（ちくま学芸文庫）の5章までを読み，練習問題に解答できるよう準備をしてきてください。			
面談時			

演習番号	220	担当教員	中村 慎一郎
「中村慎一郎ゼミ」課題レポート ゼミ希望者は、ライフサイクルアセスメント(LCA)について、企業の実施例を少なくとも一つ含むレポート(A4、3枚程度)を手書きで作成し、期日までに政治経済学部事務所へ提出してください。 Applicants are asked to write a hand-written report on life-cycle-assessment (LCA) including at least one example of its application by a company. The report should be submitted to the administration office in due time.			

演習番号	221	担当教員	船木 由喜彦
【事務所注記：下線部分は 9/3 変更部分】 在外研究中のため、選考が他の教員とは別の対応になります。 (1) 入ゼミ希望者は 9 月 8 日（日）17 時までに下記の web ページに応募の必要事項を入力して下さい。 http://expwaseda.sakura.ne.jp/funakizemi/webcj.cgi このページは 9 月 4 日 20 時からオープンします。 <u>このページは 9 月 4 日 18 時からオープンします。（WEB は船木ゼミで Google しても見つかります。）</u> (2) 9 月 9 日（月）に個別面接を行いますので、教員からの時間割り当てのメールを確認して下さい。 メールは 9 月 8 日 19 時頃に一斉送信する予定です。個別面接では拙著「初めて学ぶゲーム理論」の内容から質問をします。web で自分の成績を確認の上印刷して持参して下さい。 (3) 入ゼミ合格発表は 9 月 10 日（火）、午前中の予定です。			

演習番号	222	担当教員	星野 匡郎
計量経済学や機械学習などの分野において、どのようなことを学習し、また将来に活かしたいか考えをまとめておくこと。			

演習番号	301	担当教員	久米 郁男
課題については、下記のホームページにて発表する。 http://kumezemi.html.xdomain.jp/index.html メールにて提出。締め切りは 9 月 10 日。			

演習番号	304	担当教員	清水 和巳
以下の 3 つの課題文のいずれかを読み、これについて自分の「考える」（「感じる」ではなく）ところを A4×3 枚（40 字×30 行×3 枚）にまとめ 9 月 9 日（月）9：00～17：00 までに事務所に提出してください。「何について、どのように考えたのか」が私にわかるように論述してください。 『行動経済学』（ミシェル バデリー、2018 年、早川） 「あるく共生」の経験から（石原吉郎）、『生きる技術』（ちくま哲学の森 1） 「ラムネ氏のこと」（坂口安吾）、『驚くところ』（ちくま哲学の森 6） 註：2 と 3 に関しては、『ちくま哲学の森』シリーズ以外の版を読んでもらっても構いません。質問がある場合は、skazumi1961@gmail.com までメールしてください。			

演習番号	305	担当教員	須賀 晃一
ゼミの卒業論文などで取り上げたい研究テーマについて 1 冊本を読み、書評を作成して下さい。			
注意事項 1：表紙を付けること。 表紙には読んだ本の著者名、タイトル、出版社、出版年、ならびに学籍番号、氏名を書く。 注意事項 2：要約 1500 字以上、自分の意見・評価 1500 字以上、合計 4000 字以内。 注意事項 3：適切に節に分け、節のタイトルを付けること。 学生への連絡事項：ゼミの Web Page を参考にして下さい。 http://www.f.waseda.jp/ksuga/			

演習番号	306	担当教員	高橋 百合子
<高橋百合子ゼミ 希望者へ> 1. ゼミ希望者には、本ゼミでどのようなことを行うのかを事前に理解していただくことが大切です。まずは演習要項を熟読ください。さらに知りたいことがありましたら、遠慮なく ytakahashi@waseda.jp までメールでご連絡ください。 2. 応募時に課題を提出していただきます。(1) 新興国・途上国のどのような問題に関心があるのか、(2) その問題についてどのように研究したいのか、(3) その研究が将来のキャリアにとってどのような意味を持つと考えるのか、の 3 点について、A4 サイズ用紙 1 ページ以内にまとめて、名前と学籍番号を明記の上、以下の要領で提出してください(日本語または英語)。 提出方法：事務所に提出。 締切：2019 年 9 月 10 日(火) 17 時厳守 3. ゼミ選考では面接を行います(選考予定日は、9 月 13 日(金))。面接日時については、担当教員から直接 E メールでお知らせしますので、ゼミ申請用紙にメールアドレスを必ず明記してください。 面接日時の通知：9 月 12 日(木) 20 時までに、担当教員から直接 E メールでお知らせしますので、必ず確認してください。 *注意：「専門演習申込用紙」も忘れずに事務所へ提出してください。			

演習番号	307	担当教員	高橋 遼
【事前の提出課題】 以下の二つの点について、A4 紙 1・2 枚にまとめて記述してください。 ・ 高橋演習を希望する理由 ・ 開発途上国が抱える課題について、自身が最も関心があるものを一つ選択し、（１）なぜ関心があるのか、関心を抱いたきっかけ、（２）現時点で、課題について知っている知識 なお、２つ目の課題に関する知識について、事前の知識の深さについては判断基準に含みません。ですので、下手に調べず、率直に現在の知識について記述してください。 注意事項： ・ 提出は教員のメール（ryo@waseda.jp）に送ること ・ 事前課題は必ず PDF ファイルで送ること ・ 提出期限を過ぎた課題は受け取るが、マイナス評価とする 【面接】 教員が海外出張のため、Skype での面接を実施します。 時間などは事前課題提出後に連絡します。 各自、事前に Skype のアカウントを作成し、面接時にカメラ付きの PC（もしくはスマートフォン）でビデオチャットができるよう準備しておいてください。 9 月 9 日の 24：00 まで			

演習番号	308	担当教員	多湖 淳
以下のクアルトリックスのリンクをクリックし、回答を完了してください。 Please complete the online survey from the link below. https://wasedapse.au1.qualtrics.com/jfe/form/SV_3gvQYpjtBNyIkFn ＊または、以下の QR コードでもアクセスできます (You can also reach to the survey site via QR code.) クアルトリックスを利用 (Use of Qualtrics)			

演習番号	311	担当教員	遠矢 浩規
1. 遠矢ゼミの志望者は、下記の課題レポートを提出してください。 【課題】 大学入学後に自ら取り組んだ調査や研究について具体的に説明する文書を作成してください。ジャンルは社会科学、人文科学、アート、エンターテインメント、スポーツ、ビジネス等なんでも構いません。 文書には次の内容を含めてください。 ①<u>関心を抱き調査または研究をした問題やテーマ</u>（複数可） 例えば、「ポスト構造主義ってなんだろう」、「なぜ坂本龍馬は暗殺されたのだろうか」、「なぜイギリスは Brexit を実行できないのだろうか」、「ジブリとディズニーの本質的違いはなんだろうか」といった具合に、具体的に書いてください（「日本外交」、「バブル経済」のように曖昧に書かない）。 ②<u>調査または研究のために取り組んだこと</u> 例えば、読んだ文献（本・論文）、参加した勉強会・講演・イベント、自ら行った資料収集やフィールドワーク等の内容を具体的に書いてください。 ③<u>調査または研究によってわかったこと</u> 調査または研究によって自分が学びえたこと、初めてわかったことなどを、具体的に書いてください。 【作成要領・締切等】 ・ワープロ横書きで作成してください（手書き不可）。 ・枚数はA4サイズで本文3枚以内。表紙はつけず、冒頭にタイトル（適当に考えてください）、氏名、学生番号、所属学科を書いてください。 ・文書のまとめ方に様式は定めませんが、審査の対象になる文書だという意識を持って、丁寧に作成してください。 ・提出先は tohya@waseda.jp です（事務所ではありません）。メールの件名を「ゼミ選考課題提出」としてください。添付ファイルで送ってください。ファイルのフォーマットは WORD ファイル または PDF にしてください。ファイル名は「自分の名前」にしてください。メール本文に自分の氏名、学生番号、所属学科を書いてください。なお、面接時間の連絡は課題提出をしたメールに返信して通知するので、確認が容易なメアドから送信してください。 ・締切は9月10日（火）23：59です（早めの提出歓迎）。遠矢からの受信確認メールが提出後12時間経っても届かない場合は受信できていない可能性があるがあるので、その場合は再送信してください。 2. 面接は9月14日（土）に行います。場所は研究室（3-1337）です。			

- 面接時間は 15 分程度です。スーツは着用せず、普段、大学に来る時の服装で来てください。
- 面接時間（集合時間）は9月12日（木）までに課題提出メアド宛てに返信して通知します。面接時間はこちらが割り振るので面接当日の予定を空けておいてください。
- 9月14日以外の日程で面接を行うことはできません。スカイプ、SNS 等を通じた面接は行いません。

3. ゼミ選考に関する情報に追加・変更等がある場合は下記のサイトに掲載するので、随時チェックしてみてください。「遠矢浩規」で検索すると上の方に出てきます。

<https://hirokitohya.wixsite.com/tohya>

tohya@waseda.jp に添付ファイルで9月10日（火）23：59までに提出

演習番号	313	担当教員	深川 由起子
以下の論文を読み、手順に従ってレポートを作成せよ。 By Chad P. Bown and Douglas A. Irwin (2019) ” Trump’ s Assault on the Global Trading System” , Foreign Affairs, September/October 2019. 1)上記論文の主たる主張（米中貿易戦争が世界の貿易システムを変える理由）とその論拠を簡単に要約せよ(下記書式で 1 枚程度) 2)日本が以下のような経済条件を持つと仮定した場合、1)は日本経済にとってどのような影響を持つと考えられるか、具体的に考察せよ。主要な論点には簡単な論証を添付すること。論証データについては出所その他を必ず明記すること(同上、2-3 枚程度) ①経済成長に対する貿易の寄与度増大 ②米国と中国双方に広がったサプライチェーン ③米国に対する安全保障依存 3) 2)について政策的な対応にはどのようなものが考えられるか、列挙せよ(同上 1-2 枚程度) * レポート作成要領：A4 サイズに 40 字×36 行×4-5 枚、学生番号、氏名、参考文献リストを必ず付けること。提出先：fukagawa@waseda.jp レポート締切は 2019 年 9 月 10 日 23：59 提出先：fukagawa@waseda.jp			
9 月 10 日 23:59 までにメールに添付で提出			

演習番号	401	担当教員	齊藤 泰治
最近の中国に関する報道の中から興味のあるテーマを設定し、それについて A4 版 1 枚以内で論じてください。			
9 月 10 日 23 時 59 分までにメールにファイルを添付して送ってください。 メールアドレス：saitotai@waseda.jp			

演習番号	402	担当教員	瀬川 至朗
(A) 専門演習申込用紙の「研究計画」欄には、卒業作品（ルポルタージュ、調査取材記事、データ分析記事、映像作品など）を制作するにあたり、どのような社会問題を調査・取材したいと考えているのか、現時点での作品計画（問題の背景▽問題意識▽作品で明らかにしたいこと▽想定される調査・取材▽作品のタイプなど）を記述してください。論文希望者は研究計画を記述してください。 (B) ゼミ生は、演習Ⅲ終了時まで、ジャーナリズム関係の以下の 2 科目の履修が求められます。 ①秋学期開講の「ジャーナリズム論」（月曜 3 限）＝必須 ②春学期開講の「メディアの世界」（火曜 5 限）、「ジャーナリズムの現在（石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞記念講座）」（木曜 4 限）のうち 1 科目			

演習番号	403	担当教員	高橋 恭子
以下の内容をまとめ、面談の際に 5 分間のプレゼンテーションをしてください。 「人と人をつなげることが期待されていたインターネットですが、実際は同じ意見を持つ人同士が集い、意見を異にする人たちとの間には分断する力が働いています。このことについてあなた自身の現在のメディア接触状況を入れながら、プレゼンテーションをしてください。具体的には 1. メディア接触状況、2. インターネット上で起こっている分断について、3. 分断をどう乗り越えるかの 3 つの要素を必ず入れてください」			

演習番号	405	担当教員	中村 理
後日掲示予定			
面談に持参			

演習番号	503	担当教員	荻野 静男
2019 年度冬クォーター期間中、水曜日 6 時限にプレゼミを実施します。 教室については荻野ゼミ合格発表時に連絡予定です。 プレゼミ実施期間は 2019 年 11 月 27 日（水）～ 2020 年 1 月 22 日（水）となり、合計 7 回行います。			

演習番号	506	担当教員	本野 英一
次の条件を満たす度合いが多い志願者を優先的に受け入れます。 1) 私が担当した「経済史入門 A」の単位を取得している。 2) 中国大陸、台湾、香港に留学もしくは居住していた体験があること、 3) 第 2 外国語に中国語を選択していること。 4) 東アジアの近現代史に興味と関心があること。			

演習番号	901	担当教員	田中 幹人
今期は 2019 演習 II, 2020 年度 III-IV の補充人数分（復学者含む）のみ受け入れます。 2020 年度の演習 I, II については募集していませんのでご注意ください。			

2019年8月29日更新（追加）

演習番号	223	担当教員	村上 由紀子
【以下のお知らせは事務所にて記入しています。】 今回の村上ゼミの募集はプレゼミ（2019 年度）および演習Ⅰ・Ⅱ（2020 年度）のみです。演習Ⅲ・Ⅳ（2021 年度）は提供されませんのでご注意ください。			

演習番号	901	担当教員	室井 禎之
【以下のお知らせは事務所にて記入しています。】 今回の室井ゼミの募集は、復学者受入のみです。 2020 年度の演習Ⅰ,Ⅱについては募集していませんのでご注意下さい。			

演習番号	405	担当教員	中村 理
おさむ 中村 理 ゼミ 2019 年秋の選考 事前の提出課題はありません。 当ゼミを希望される方は、以下のいずれかを USB メモリに入れて、当日に持参してください。面談の場で 3～5 分ほど簡単にプレゼンしてもらえればと思います。面談はおよそ 20 分前後です。 採点したり精査したりするわけではありませんので、あなたがどのような人なのか以下を使って自由にアピールしてもらえればと思います。不明な点があれば事前に問い合わせてください。お話を通じて、あなたがゼミにどのような貢献をしてくれる方なのか、見せてもらえればと思います。 ● ゼミ研究で取り組みたい課題／今持っている問題意識 できれば ppt で持参してもらえればと思いますが、難しければ word か pdf でも可です。この場合は基本的には申込用紙に記す内容を発表形式に組み立ててもらえれば OK です。その課題について少し下調べしてもらえとなお良いでしょう。 ● 早稲田大学に入学してからあなたが作成した授業レポートまたは発表資料等のうち、あなたが見せたいと考えるもの。 提出済のものを作成しなくても OK です。メディア関連でなくても OK です。どれを選ぶかという理由は、自分の問題意識を見せたい、自分が熱心に取り組んだ、分析がうまくいった、チームワークに大きく貢献したなど、なんでもかまいません。 ● 授業外であなたが作成したレポートまたは発表資料のうち、今後のあなたのゼミ活動を教えてくれそうなもの。 サークルやウェブ上での発表物など、形式は問いませんので広く捉えてもらって結構です。どれを選ぶかという理由は上に同じです。 留意点： ※選考日程の都合がつかない方は、応募の頃に事務経由でご相談ください。 ※プレ演習は水曜 5 限を予定しています（10 月下旬以降で計 8 回＋発表会） ※留学帰り等で 1 次選考のみで勝負という方は、心配なら応募の前にご相談いただいても結構です。			